

プレスリリース
2012年11月21日

アコーホテルズ、アジアパシフィック地域 30周年を迎える

2012年、新たに100ホテルを新規契約 - アジアパシフィック地 区で最大のホテルチェーン

アジアパシフィック地域最大のホテルチェーン・アコーホテルズは、本日2012年11月21日、アジアパシフィック地域初進出から30周年を迎えました。急速にネットワークが拡大しているアジアパシフィック地域では、2012年、ラグジュアリーからエコノミーまでの様々なカテゴリーで新たに110軒のホテルをオープンすることとなり、地域内のネットワークは2012年末までに550ホテルに達します。

マーケットリーダーとしての30年間

1982年にノボテルオーキッドシンガポールをオープンして以来、タイ、中国、韓国にも進出し、アジアパシフィック地域展開の土台を築き上げました。1990年代初めには、地域内に13のホテルを展開し、それから約10年の間にホテル数を180に増やし、2000年からの12年間では、さらにホテル開発のスピードを速め、今日では、約3倍の550軒のホテルを16ヶ国に展開しています。2011年には67軒のホテルを新規開業し、2012年は、その数をさらに超える、過去最大数の110ホテル、19,000ルームを展開する年となりました。

今日、アコーホテルズは、オーストラリア、ニュージーランド、インドネシア、韓国、タイ、そしてベトナムにおいて最大のマーケットリーダーであり、今後その他の国においても更なるネットワーク拡大を目標としています。現在18ホテルを展開しているインドには合計90ホテル、126のホテルを展開している中国では200ホテル、そしてインドネシアでは現在の倍となる約100ホテルと、今後さらにネットワーク数増やしていきます。オーストラリア・ニュージーランドでは、今年、ホテルチェーンのマーバック(MIRVAC)を買収したことにより新たに43ホテルがアコーネットワークに加わりました。また、新しいマーケットを開発していくことにも力を注いでおり、今月初め、アジアパシフィック地域内の17番目の国として、バングラディッシュのダッカおよびチッタゴンに新しく2つのノボテルをオープンすることを発表しました。2015年までにアジアパシフィック地域内に700のホテルを展開することを目指します。

年	ホテル数	客室数
1982	1	456
1990	13	3,976
2000	180	30,218
2010	422	81,033
2012	550	105,000
2015(予定)	700	133,200

ラグジュアリーからエコノミーまで幅広いブランド展開

ホテルを展開していくうえで、さまざまなニーズに応えるため、ラグジュアリーからエコノミーまで幅広いブランドを取り揃えています。ラグジュアリーホテルブランドであるソフィテルは、今年、インドにソフィテルムンバイBKCをオープンし、バンコクには新しいソフィテルSOブランドとしてソフィテルSOバンコクをオープンしました。

2011年に発表した新規イビスブランド(イビス、イビススタイルズ、イビスバジェット)は、続々とアジアパシフィック地域にネットワークを拡大しており、日本にもイビスブランド第一号として、イビス東京新宿を開業し、その他ベトナム、マレーシアにも初進出しました。また、新規イビスブランドでは、エコノミーブランドでありながら、革新的なデザインを取り入れ、3つ星のエコノミーホテルに、5つ星クラスの新しいベッドを導入するという新たなブランドコンセプトを発表しました。

サステナビリティ(環境を破壊せずに持続して資源を利用できる開発)に対する取り組み

アコーホテルズでは、30年以上に渡り、サステナビリティにおいて、環境面および社会面の取り組みをホテルで実施してきました。例として、2001年にインドネシアで、環境保護および貧しい子供たちを支援するためのプロジェクト「A Tree for a child」のを立ち上げ、2003年には、ECPAT(End Child Prostitution in Asian Tourism - アジア観光における子ども買春根絶国際キャンペーン)を掲げる最初のインターナショナルホテルチェーンとして、活動に協力しています。

今年発表したアコーの新しいサステナブル開発プログラムPLANET21では、サステナビリティに対する21の約束を掲げ、さまざまな取り組みを実施しています。その一つのプログラムである「Plant for the Planet」では、日本を含めたアコーホテルズ全体として、宿泊のお客様に、タオルの再利用をお願いし、クリーニングコストを抑えることにより、ホテルとお客様が一丸となり、植樹を行っています。平均、タオルの再利用5枚につき、1本の植樹をしています。2008年にこのプロジェクトを発足して以来、すでに世界中のアコーホテルズで、200万本の植樹を行っています。

アコーのキーマーケットであるアジアパシフィック地域において、アコーのモットーである「Open New Frontiers in Hospitality」にならない、常に新しいことにチャレンジし続け、今後更なる発展を目指していきます。



アコーについて

アコーはフランス・パリを拠点とした世界92ヶ国に約3,500のホテル及び440,000ルームを展開している世界最大級のインターナショナルホテルチェーンです。アコーでは、ソフィテルをはじめ、プルマン、Mギャラリー、グランドメルキュール、ノボテル、スイートノボテル、メルキュール、アダジオ、イビス、イビススタイルズ、イビスバジェットそしてホテルF1と、ラグジュアリーからエコノミーまで幅広いカテゴリーのホテルブランドを展開しております。世界160,000のアコースタッフが約45年の間に培った知識・経験を活かし、心温まるサービスで、ゲストやパートナーの方々をお迎えいたしております。

この記事に関するお問い合わせ:

マーケティング & コミュニケーションズ エグゼクティブ

浅場 衣里

Tel: 03-5157-1733

Email: eri.asaba@accor.com